



ゴールする駒大アンカー河村修一。駒大は通算5時間5分35秒で2年ぶり2度目の総合優勝を果たした(下) 胴上げされる駒大の森本葵監督(共同)

駒大



1月3日
木曜日
2002年
(平成14年)
PM07:00

順位	大学名	総合成績
1	駒大	11時間5分35秒
2	順大	11時間9分34秒
3	早大	11時間9分54秒
4	中大	11時間12分58秒
5	大東大	11時間13分15秒
6	神奈川大	11時間16分29秒
7	亜大	11時間21分33秒
8	帝京大	11時間21分39秒
9	山梨学院大	11時間21分44秒
10	日大	11時間22分40秒
11	日体大	11時間23分36秒
12	関東学院大	11時間29分23秒
13	専大	11時間33分42秒
14	東海大	11時間34分19秒

法大は途中棄権

復路で逆転!

2年ぶり2度目

往路2位の駒大が通算11時間5分35秒で2年ぶり2度目の総合優勝を果たした。23秒差でスタートした駒大は、山手線の6区で吉田がトップに立ち、その後9区高橋正の力走などでリードを広げ、5時間28分41秒の復路最高記録でゴールした。連覇を狙った順大は11時間9分34秒で2位、前回10位で予選会から出場の早大が3位に食い込む健闘を見せた。4位中大、5位大東大と続き、往路優勝の神奈川大は総合6位だった。

最終日 3日
箱根・芦ノ湖駐車場
の復路5区間 10
9・2キロ